

【A年】

降臨節前主日

(特定二十九)

永遠にいます全能の神よ、あなたのみ旨は、王の王、主の主であるみ子にあつて、あらゆるものを回復されることにあります。どうかこの世の人びとが、み恵みにより、み子の最も慈しみ深い支配のもとで、解放され、また、共に集められますように、父と聖霊とともに一体であつて世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによつてお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はエゼキエル書第三四章十一節から」

11まことに、主なる神はこう言われる。見よ、わたしは自ら自分の群れを探し出し、彼らの世話をする。12牧者が、自分の羊がちりちりになつているときに、その群れを探さよう

に、わたしは自分の羊を探す。わたしは雲と密雲の日に散らされた群れを、すべての場所から救い出す。13わたしは彼らを諸国の民の中から連れ出し、諸国から集めて彼らの土地に導く。わたしはイスラエルの山々、谷間、また居住地で彼らを養う。14わたしは良い牧草地で彼らを養う。イスラエルの高い山々は彼らの牧場となる。彼らはイスラエルの山々で憩い、良い牧場と肥沃な牧草地で養われる。15わたしがわたしの群れを養い、憩わせる、と主なる神は言われる。16わたしは失われたものを尋ね求め、追われたものを連れ戻し、傷ついたものを包み、弱つたものを強くする。しかし、肥えたものと強いものを滅ぼす。わたしは公平をもつて彼らを養う。

17お前たち、わたしの群れよ。主なる神はこう言われる。わたしは羊と羊、雄羊と雄山羊との間を裁く。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第二十三編

1 主はわたしの牧者＝ わたしは乏しいことがない

- 2 神はわたしを緑の牧場に伏させ二 憩いの水辺に伴われる
- 3 神はわたしの魂を生き返らせ二 み名のゆえにわたしを正しい道に導かれる
- 4 たとえ死の陰の谷を歩んでも、わたしは災いを恐れな  
い二 あなたがわたしとともにおられ、あなたの鞭と杖はわたしを導く
- 5 あなたは敵の見ている前でわたしのために食卓を整え  
二 わたしの頭に油を注ぎ、わたしの杯を満たされる
- 6 神の恵みと慈しみは、生きている限り、わたしに伴い  
二 わたしは永遠に主の家に住む

使徒書

朗読者 「使徒書はコリントの信徒への手紙I 第十五章

二〇節から」

20 しかし、実際、キリストは死者の中から復活し、眠りに  
ついた人たちの初穂とられました。21 死が一人の人によっ  
て来たのだから、死者の復活も一人の人によって来るのです。  
22 つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったよ  
うに、キリストによってすべての人が生かされることになる  
のです。23 ただ、一人一人にそれぞれ順序があります。最初

にキリスト、次いで、キリストが来られるときに、キリスト  
に属している人たちが、24 次いで、世の終わりが来ます。その  
とき、キリストはすべての支配、すべての権威や勢力を滅  
ぼし、父である神に国を引き渡されます。25 キリストはすべ  
ての敵を御自分の足の下に置くまで、国を支配されることにな  
っているからです。26 最後の敵として、死が滅ぼされます。  
27 「神は、すべてをその足の下に服従させた」からです。す  
べてが服従させられたと言われるとき、すべてをキリスト  
に服従させた方自身が、それに含まれていないことは、明  
らかです。28 すべてが御子に服従するとき、御子自身も、す  
べてを御自分に服従させてくださった方に服従されます。  
神がすべてにおいてすべてとなられるためです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第二十五章三一節以下に記さ

会衆 「主に栄光がありますように」

れた主イエス・キリストの福音。

主に栄光」

31 「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。32そして、すべての国の民がその前に集められると、羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼らをより分け、33羊を右に、山羊を左に置く。34そこで、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されていた国を受け継ぎなさい。35お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、36裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』37すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ、のどが渴いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。38いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。39いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』40そこで、王は答える。『はつきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』

41それから、王は左側にいる人たちにも言う。『呪われた者ども、わたしから離れ去り、悪魔とその手下のために用意してある永遠の火に入れ。42お前たちは、わたしが飢えていた

ときに食べさせず、のどが渴いたときに飲ませず、43旅をしていたときに宿を貸さず、裸のときに着せず、病気のとき、牢にいたときに、訪ねてくれなかったからだ。』44すると、彼らも答える。『主よ、いつわたしたちは、あなたが飢えたり、渴いたり、旅をしたり、裸であったり、病気があったり、牢におられたりするのを見て、お世話をしなかったでしょうか。』45そこで、王は答える。『はつきり言うておく。この最も小さい者の一人にしなかったのは、わたしにしてくれなかったことなのである。』46こうして、この者どもは永遠の罰を受け、正しい人たちは永遠の命にあずかるのである。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」